

## 弱者の戦略

群馬大学 名誉教授 小林春夫

ある講演会での「研究は人のやっていないことをやれ」との話でハッとした。一方ある業界では「これが有望そうだ」となると各社がそこに一斉に参入し、過当競争になり利益を得るのが大変であるとの話を聞いていた。そこで「違うことをやる」ということを意識するようになった。これはよく考えると「弱者の戦略」である。このようなことで存在価値を出すことができると思う。

### ● 研究:

- 「回路の理論解析」の研究  
電子回路の研究者はやっていない。自分はもともと数理関係のことが好きである。
- アナログ回路のテスト技術の研究  
日本の大学のアナログ回路の研究者も LSI テストの研究者もやっていない。  
アナログ回路と LSI テストの両者にまたがる境界領域である。
- 電源回路の研究  
日本の大学の電子回路の研究者では（かつては）少なかった。  
客員教授を招聘して研究・教育の指導を受ける。

### ● 学会:

- 日本人の参加が少ない国際学会に積極的に参加し発表する。
- これらの学会の委員として日本に紹介、日本人研究者を招待講演者として参加を促す。
- 学会参加報告書を作成し、日本に紹介する。

### ● 定年後:

- 研究者として定年前の自分とは違うことをやる。
- 様々なしがらみをもたず、できることやりたいことをやる
- 長編の招待論文執筆
- 専門書の執筆  
まだ書籍がでていない分野を狙う。
- 学会・研究会に積極的に自分で参加発表（時間的余裕ができた）  
現役時代は学生に参加発表させることが多かった。

### ● 情報・人を集める

草食動物が群れを作り肉食動物に対抗する

### ● 小さなことを大事にする

### ● 記録に残す:

このことでアクティビティは「現在」ではなく「過去から現在まで+現在」にすることができる。

### ● 攻めより守り: 攻撃は防御の3倍の兵力が必要。「攻撃は最大の防御」ということもあるが。

### ブルーオーシャン戦略:

新しい市場を生み出すことで他社と競合することなく事業を展開することができる戦略

### 柔よく剛を制す:

相手の力も活用して協力して成果をだす。

皆がやっているところに割り込むようなことはしない。

1つのことがうまくいかなければ 固執せずに他に移る

人の行く裏に道あり花の山  
いずれを行くも散らぬ間に行け

千利休